

## 2021 年度 第 2 回理事会報告

2021 年度第 2 回理事会の概要は次の通りです。

日時：9 月 26 日(日) 13:01~16:28

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：浦野正樹会長、増田聡、松村茂、熊田俊郎、大矢根淳、西野淑美、井澤知旦、磯部友彦、佐藤彰男、山崎健、平篤志、川瀬正樹、外井哲志、山下宗利、齊藤綾美、土居洋平、大塚俊幸、佐野光彦、川田力、石川雄一(以上 理事)

### ■議題 1 2020 年度事業報告、決算

本部事務局より 2020 年度事業報告案および 2020 年度決算報告案について、第 1 回理事会報告からとくに変更がないことが報告されました。

### ■議題 2 2021 年度事業計画、予算

本部事務局より 2021 年度事業計画案および 2021 年度予算案について、第 1 回理事会からとくに変更がないことが報告されました。また大会開催費予算の執行について、これまで開催都市学会に予算を移し大会事務局で会計を行なってきました。今年度大会はフル・オンラインとなるので、本部会計で必要経費の精算を行なう方向で調整することになりました。また対面による通常大会が開催されるときには、従来の予算執行方式に復することが確認されました。

### ■議題 3. 学会賞事務局関係

各学会賞選考委員会からの推薦に基づき、2021 年度日本都市学会賞(奥井賞)として、五十嵐泰正『上野新論——変わりゆく街、受け継がれる気質』(せりか書房,2019.12)

同論文賞として

佐藤 将「大都市圏近郊における完結出生力の空間構造——川崎市を事例に——」(『日本都市学会年報』第 52 号、2019.5.)

同特別賞(まちづくり賞)として、

北原啓司<コミュニティ FM によるまち育ての継続的实践——20 年を超える FM 番組「まち育てなにと」の取り組み>

を決定しました。

つづいて九州都市学会からの提案に基づき、日本都市学会特別賞(外国語著作賞)の新設を決定し、同規程を制定しました。あわせて日本都市学会賞(奥井賞)の一部修正を承認しました。

### ■議題 4. 年報事務局報告

中部都市学会(2020 年度年報事務局)より、年報 54 号の収支および過去の過剰残部の処分方法について報告がありました。つづいて近畿都市学会より、年報 55 号の編集方針、学術論文データベースの EBSCOhost から収録提案があったとの報告がなされ、費用、収録号、著作権等についてさらに検討を進めることとなりました。

■議題 5. 論文審査事務局報告

中四国都市学会より、分野別、地域都市学会別の論文審査委員の構成について報告があり、2022 年度に予定されている審査委員の入れ替えについて報告がありました。

■議題 6. 第 68 回大会について

近畿都市学会より、第 68 回大会準備状況について報告がありました。学会ホームページの大会特設サイトに近日中にプログラムをアップロードすることなどが報告され、オンラインでの学会賞授与式の運営方法について意見を交換しました。

■議題 7. 第 69 回大会について

中部都市学会より、第 69 回大会について報告がありました。2022 年 10 月下旬に名古屋学院大学を会場に開催を予定していること、また 1 年前にならないと会場の確定ができないため、会場・日程を確定させてから改めて報告することになりました。

■議題 8. 規程改定について

本部事務局より、日本都市学会会則改正(2020 年)に伴う規程改定について提案があり、原案通り決定しました。つづいて 2020 年総会で決定した倫理委員会の発足に当たっての申し合わせを決定し、第 3 回理事会で同委員会を発足させることになりました。

■議題 9. 本部事務局より

本部事務局より、理事会名簿および理事の出欠について報告がありました。

■議題 10. その他

(1)次回理事会を 10 月 20 日(水)18 時から Zoom により開催することが決まりました。

(2)日本都市学会の各地域都市学会分担金の納入について、近畿・中部・関東の 3 つの都市学会は前年度納入金の半額を前期に納入し年度末に精算、その他の地域都市学会は年度末に一括納入することで合意しました。